

新プログラム「わたしたちのまち」無料出張授業のご案内

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

「わたしたちのまち」とは

グローバルなコンサルティング企業であるアクセンチュア株式会社の支援のもとに開発した、ジュニア・アチーブメントの小学生向けプログラムです。グループアクティビティを中心とし、楽しみながらわたしたちをとりまく「まち」のなりたち、「まち」と自分の関わり、「まち」の仕事を学びます。この体験をきっかけに、自分の身の回りからまち全体やそれを支える仕事に視野を広げ、ご飯を食べたり買い物をしたり、お小遣いをもらうなど、自分たちが普段あたりまえに送っている生活は、まちでみんなが仕事をして支え合っているから可能であると意識するようになることを目指しています。本プログラムのオリジナルは、「Our Community」として世界のジュニア・アチーブメントで展開していますが、この度日本の学校の授業や放課後で活用していただけるよう日本語化したしました。

対象

小学3～5年生程度

主な内容と所要時間

下記は単元全てを実施した場合の内容と所要時間です。出張授業に可能な時間の範囲で、どの内容を入れるか、学校のご希望を伺った上で調整させていただきます。

単元1:「まちってなんだろう?」まちにある仕事を探そう(約30分)

まちをイラストにしたポスターを見ながら、自分のワークシートに様々な仕事のステッカーを貼るアクティビティ
ねらい:まちにある様々な職業を認識する。自分の住むまちにはどのような商店、会社、施設があるか意識する。



単元2:「政府機関の役割」選挙にチャレンジ(約30分)

単元1のステッカーの中から公務員を選び、自分のワークシートに貼っていきます。また、異なる公約を唱える市長(区長)候補3名の中から自分で1名選ぶ選挙を体験します。

ねらい:公務員とは何かを知る。選挙を通じて意思決定のプロセスを学ぶ



単元3:「仮想のドーナツ作りで仕事と役割分担を考えよう」(約30分)

紙でできたドーナツに、材料シールを貼り、色を塗って製造業を体験します。自分一人で全て行う生産方式と、チームで分担して生産する方式を比較します。

ねらい:モノづくりには「ひとりで全てを行う」タイプのものと「分担して生産する」タイプがあることを理解する。仕事をするときには、みんなで協力することが大切であることを理解する。



単元4:「税金てなんだろう？」(約15分)

単元3で作ったドーナツの数によってお給料をもらいます。その中から一定の税金を払います。

ねらい:なぜまちの住民は税金をはらわなければならないかを理解します。



単元5:「ごはんはなぜ食べられる？」(約15分)

グループになり、模造紙に「稲刈り～ごはんを食べる」間にある様々な仕事・業種を書き出す。

ねらい:普段当たり前に行っていること、使っているものは、色々な人がまちで仕事をしているから手に入れることができることを学びます。将来自分がどんな仕事を通じて、まちの一員になっていくか考えるきっかけづくりとします。



出張授業お申込み

授業希望日の1か月前までに必要事項を記載の上、Eメールで yorikr@ja-japan.org までお申込み下さい。

- ① 学校名・住所・電話番号
- ② ご担当教諭氏名
- ③ ご担当教諭Eメールアドレス
- ④ 実施希望日、開始時間・終了時間
- ⑤ 対象学年・人数(1回の人数は1クラス以内とします)
- ⑥ どの教科の授業で行うか

※当日の講師は、ジュニア・アチーブメント日本スタッフ、またはアクセンチュア社員となります。

※事前に授業内容や生徒さんの日頃の様子の確認など、打ち合わせをさせていただきます。

※当日の様様を撮影・学校ホームページなどで公開される際には、所定のガイドラインがあります。

※出張授業の後、引き続き他の学年・クラスで実施をご希望の際には、教材を無償提供することが可能です。別途ご相談下さい。

※所定のお申込み数を超えた場合はご希望に添えない場合がございますので、お早めにお申し込み下さい。

主催

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

特別協賛

アクセンチュア株式会社

お申込・お問合わせ先

〒140-0001 東京都品川区北品川3-9-30 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

電話 03-5781-0602 FAX 03-5460-2403 Eメール:yorikr@ja-japan.org 担当:黒木

体験会をご覧になった保護者様の声

- 早い段階で世の中の仕組みを正しく知ることができて、大変役立ったと思います。
- グループで話し合い、自由に意見を言えたことが良かったです。
- 子どもたちが楽しみながら生き生きと学んでいる様子が印象的でした。
- 税金や公務員など、子どもにはわかりづらいことが体験を通じて具体的に理解できました。

ご参考

- ジュニア・アチーブメントについて

1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部の設立は1995年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。

社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質(主体的に社会に適応できる力)を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト www.ja-japan.org をご参照ください。

- アクセンチュアについて

アクセンチュアは、経営コンサルティング、テクノロジー・サービス、アウトソーシング・サービスを提供するグローバル企業です。22万3千人以上の社員を擁し、世界120カ国以上のお客様にサービスを提供しています。豊富な経験、あらゆる業界や業務に対応できる能力、世界で最も成功を収めている企業に関する広範囲に及ぶリサーチなどの強みを活かし、民間企業や官公庁のお客様がより高いビジネス・パフォーマンスを達成できるよう、その実現に向けてお客様とともに取り組んでいます。2010年8月31日を期末とする2010年会計年度の売上高は、約216億USドルでした(2001年7月19日NYSE 上場、略号:ACN)。アクセンチュアの詳細は www.accenture.com を、アクセンチュア株式会社の詳細は www.accenture.com/jp をご覧ください。

- アクセンチュア株式会社の企業市民活動「Skills to Succeed」について

「Skills to Succeed(スキルによる発展)」はアクセンチュアのコーポレート・シチズンシップ(企業市民活動)の中核テーマであり、能力開発・スキル形成を通してより多くの人々の経済活動への参加を促進し、個人と社会の双方の持続的発展を図っていかうとする取り組みです。日本においては「初等・中等教育課程からのグローバル人材育成」「若年不安定就労者の就業促進」「ダイバーシティの活用度の向上」の3つを重点テーマと位置付け、ノウハウを持つNPOとの協力により数々のプロジェクトを推進しています。コンサルティング、テクノロジー、アウトソーシングの実務を通して培った社員一人ひとりのスキルと時間を提供する、という考え方に立って、多くの社員が活動に参加しています。